

## 海外モールの最新動向

中国とアセアンでは2021年度に2モールがオープンし、既存モールでも積極的なリニューアルを実施。時代の変化や現地での課題を見据えながら、地域の発展に貢献するサービスと価値を提供します。

### 新規オープン

#### デジタルによる未来型ショッピングを体験

●イオンモール広州新塘(中国)



2021年5月、広州市の副都心に指定された、地下鉄などの交通インフラ整備やハイテク企業の誘致が進む成長著しいエリアに広東省4号店としてオープン。顔認証決済やAIインフォメーションをはじめ、デジタル技術をサービス、エンターテインメント、

安全管理などに活用し、誰もが快適で楽しさに満ちた時間を体験できます。1階中央の星空広場を360度囲むように1周約60mのLEDスクリーンを設置するほか、館内通路に55台のデジタルサイネージを導入しペーパーレスを推進しています。

SDGs  
持続可能な  
開発目標



#### インドネシア初の都市型モールが誕生

●イオンモール タンジュン パラット(インドネシア)



2021年11月に一部先行オープンし、2022年5月にグランドオープンしたインドネシアの4号店は、ジャカルタ中心部から南へ約15kmのエリアに位置する、当社としては同国初となる都市型モールです。オフィスやレジデンスなどを含む、エリアの複合開発プロ

ジェクトの基幹事業として位置づけられ、駅に直結するほかジャカルタの主要環状線である高速道路もあり、広域からの集客も期待できます。館内は高級感のあるスタイリッシュな雰囲気表現しつつ、天然木を使用した温もりのモール空間を提供しています。

### リニューアル

#### 地域の特性に合わせた快適な館内を創出

●イオンモールBSD CITY(インドネシア)

インドネシア1号店として2015年に開業して以来初の大型リニューアルを2期にわたり実施しました。年間の半分が雨季という特性に合わせて、モール直結の立体駐車場の新設やエントランスの拡充をおこなうなど、天気や気候に合わせた館内へとアクセスできる環境を整備。また、祈祷室の内装を刷新しお客さまに快適に使用していただいています。

#### 若者向けフロアの魅力や機能を拡充

●イオンモール武漢金銀潭(中国)

人気のストリートファッションやコスメ、洗練されたレディースファッション専門店を新たに加え、トレンドに敏感な若者のライフスタイルに対応。また、当モールが誇るスポーツゾーンにトラックコースを導入したほか、キッズゾーンでは英語や運動などの教育プログラムをいっそう充実させ、健康で活き活きとした毎日を彩ります。

#### 新たな体験を楽しむという価値を創出

●イオンモール蘇州園区湖東(中国)

常に新鮮なモール環境を提供することをめざし、食や都会的なファッションブランドを充実させるなど53店舗を刷新。床面を踏むと音が出て色が変わるお子さま向けのLED体験型コンテンツを設置するほか、事前登録によりお客さまの顔、もしくはスマートフォンのQRコードでキャラクターカートが利用できるサービスを導入するなど、新しい体験と発見を提供しています。

#### その他2021年度にリニューアルを実施したモール

##### 中国

- イオンモール武漢金橋(湖北省)
- イオンモール武漢経開(湖北省)
- イオンモール広州番禺広場(広東省)
- イオンモール広州金沙(広東省)
- イオンモール佛山大瀝(広東省)